

第4回 日本遺産「里沼」テーマ別 タスクフォース情報共有会議

- 1)日時 令和2年12月28日(月)10:00~11:15
- 2)場所 館林市役所3階政策審議室
- 3)出席 須藤市長・館林市役所「里沼」関係課職員(係長級・担当者)
- 4)須藤市長あいさつ

ちょうど1年前に初回のタスクフォース会議を開催した。各チームとも新型コロナの影響により取組みが困難となり、進捗も若干遅れ気味かもしれない。ポストコロナ時代は非接触型社会の到来が予想されるため、我々の「里沼」がより一層深まる契機になるだろう。

5)各チーム報告

	各 TF チームの取組み報告	質問・意見等	方向性
1	<p>沼辺土地活用チーム (都市計画課・道路河川課・緑のまち推進課)</p> <p>沼辺周辺の土地活用に向け事業者との情報交換を継続して実施中。各社とも新型コロナで事業展開は控えている状況。</p> <p>沼辺周辺の環境に配慮しつつ、積極的な土地活用を図るため、規制の見直しを検討中。</p> <p>近藤沼公園(中沼)におけるバーベキュー等施設整備を実施中。</p> <p>城沼つつじ緑道(城沼北岸:当郷町)で芝張・園路整備工事が年明けから着工。「文学の小径」「朝陽の小径」との一体的活用を進める。</p>	<p>【須藤市長】</p> <p>沼辺周辺の土地活用の手法のひとつとして官民連携も考えられる。他自治体の事例を参考にして欲しい。</p> <p>【須藤市長】</p> <p>近藤沼施設整備については屋根が高額なので、担当課ではどのような方向性を検討しているか？</p>	<p>引き続き、沼辺周辺における出店候補地を検討。</p> <p>材質・形状などを再検討する。</p>
2	<p>日本遺産ロゴ使用・商品ブランド化チーム (商工課・農業振興課・日本遺産PJ)</p> <p>館林商工生徒デザインの「里沼」ロゴが市民投票により決定[646/3284票]。使用許可制度もスタートし、積極的な使用を促進したい。令和2年度ブランド商品化支援補助金は、申請7件で予算額(200万円)終了。商品化が促進されつつある。</p> <p>かごめ六斎市で館林産野菜・百年小麦を使った商品を販売・PR。10月には館林駅連絡通路で地産地消をテーマとしたミニマルシェを実施し好評を得た。</p> <p>市内農業者と麵のまち「うどんの里館林」振興会による農商工連携事業として、(仮称)プレミアム百年饅飩(うどん)製品化に向けた実証実験用の小麦「きぬの波」の播種を実施。また、百年小麦の魅力発信のため、百年小麦ブランド化委員会による小麦の播種体験を行い、館林商工高校の生徒も参加した。</p>	<p>【須藤市長】</p> <p>ミニマルシェの継続性を検討し、定番化できると良い。次年度検討している観光協会の通路移転との連携も必要。</p>	<p>ミニマルシェの「実証」のため曜日・時間等の条件を変えて2回目以降を実施したい。</p>
3	<p>体験型観光関係チーム (つつじのまち観光課・道路河川課・日本遺産PJ)</p> <p>県館林土木事務所と連携し城沼水面利用を検討中。年明けに協議会を設立し、[県]利用ルール、[市]届出制度を提示する。(但し、コロナの影響で協議会開催未定)</p> <p>周遊ルート造成を目的として東武沿線の日本遺産認定地である両毛3市(桐生市・足利市・本市)の連携強化のため、2/21(日)シンポジウム「つながり日本遺産」を開催予定(文化会館カルピスホール)</p> <p>12/21(金)グルメ・土産情報サイト「たてばやしMini oriグルメサイト」運用開始。3月までに120店舗の掲載を予定(現段階で70店舗)「おみたて」事業推進のため、里沼関連商品の新規認定も進めている。</p> <p>里沼周遊に関連して 1/14(木)~19(火)東武健康ハイキングを実施。館林駅を起点に多々良沼を周遊して多々良駅まで14km。1/8(金)レンタル自転車(ぼんチャリ)の貸出場所を市役所からつつじが岡ふれあいセンターへ変更。</p>	<p>【須藤市長】</p> <p>グルメサイトではポストコロナを考慮しサイト登録店の混雑状況が把握できるシステムも検討・研究して欲しい。</p> <p>【須藤市長】</p> <p>シンポジウムはコロナ対策レベルの状況により、無観客開催・オンライン配信等も予め考慮すること。</p>	<p>先進事例等を参考に研究を進める。</p> <p>収容人数50%の500名募集だが状況により参加者数を絞る。オンライン開催も検討するとともに、記録映像のYouTube 事後配信は行う予定。</p>
4	<p>里沼グローバルトランスミッションチーム (秘書課・日本遺産PJ)</p> <p>シティプロモーション用バナーを新調し1月上旬から</p>	<p>【つつじのまち観光課】</p>	

	<p>使用する。現地散策者用に1月中旬に「城沼散策マップ」、2月下旬に「多々良沼散策マップ」を発行予定。3月上旬に里沼幟旗・ステッカーを市内再配付。</p> <p>地域プロデューサー橋本淳司氏と連携し、YouTube「日本遺産『里沼』ちゃんねる」動画配信開始。3月上旬までに全5回を制作・配信予定。3月中旬を目標に里沼WEBサイトの多言語化[英語・中国語]、各沼スポットにAR[拡張現実]システム導入に向けて作業中。</p> <p>人材育成として2/1(月)・24(水)に里沼ランドナビゲーター講座、18(木)に里沼ガイド講習会を予定。講師はそれぞれ地域プロデューサーの為国孝敏氏・岡屋英治氏が務める。</p>	<p>昨年度観光協会でも日本遺産幟旗を作製したが、今後は日本遺産PJ 作製里沼幟旗デザインに統一する方向で良いか？</p> <p>【須藤市長】 タスクフォース内の取組みを外部に情報発信する必要がある。里沼 WEB サイト等への掲載・周知も検討すること。</p>	<p>幟旗デザインは統一する。</p> <p>各課の報告事項を再整理したものを提供していただき、里沼WEBサイトで公表・発信する。</p>
5	<p>水辺環境保全チーム（地球環境課・緑のまち推進課・地域プロデューサー橋本氏から超微細気泡(ナノバブル)による水質浄化・環境再生の情報提供あり。設置及び経常コストや目標値設定が導入に向けた今後の課題。</p> <p>来年11月までに県館林土木事務所で多々良沼揚水機ポンプを修繕し、導水を確保する予定。今後は導水協議会等の設立も検討する必要がある。</p>	<p>【須藤市長】 ナノバブル導入に向けた検討状況はどうか？</p>	<p>次年度で詳細を検討していく。</p>

6) 須藤市長総評

コロナ状況下とは言え、各チームとも様々なことを検討して来ている。企業や住民だけでなく、里沼の新たなプレイヤーとなりうる人達に向けた情報発信・情報共有が重要であると感じた。本日の報告内容も里沼WEB サイト等で公開するとともに、各分野の地域プロデューサーとも情報をクロス(交差)させていくことが重要である。ある程度タスクフォースチームの取組みが積み重なった段階で、地域プロデューサーも含めた会議を開催することにしたい。